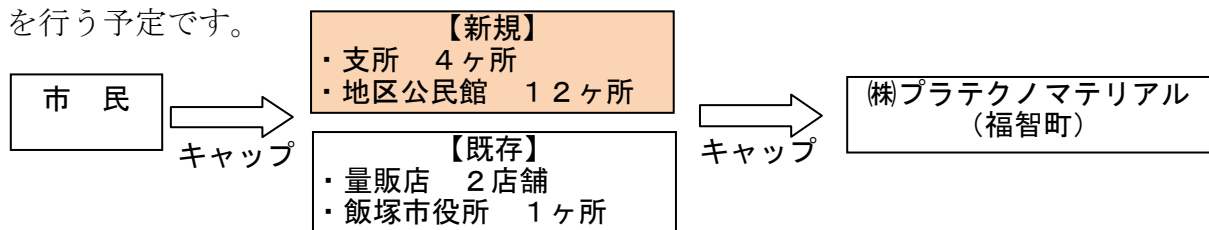


飯塚市ペットボトルキャップ回収実験 ～4月からキャップ回収拠点を拡大します～

- 福岡県リサイクル総合研究センターは、飯塚市、八女市、(株)プラテクノマテリアル、九州工業大学と「ペットボトル用キャップを効率的にリサイクルするしくみづくり」をテーマとした共同研究プロジェクトに取り組んでいます。
- 飯塚市の実証実験において、本年4月1日からペットボトル回収拠点を拡大し、新たに4支所と12の地区公民館で回収を開始します。
- 本プロジェクトでは、現在焼却処理されているキャップを資源プラスチックとして回収できないか検証するため、飯塚市において、平成23年2月から、市役所及び量販店2店舗の計3ヶ所を拠点として回収実験をしてきました。
- 約1年間の回収実験の結果、1ヶ所あたり、月平均で量販店では66kg/月、市役所では20kg/月のキャップが集まっており、累計で1,700kgのキャップが回収されました。(平成23年12月末時点)
- 量販店に比べて公共施設でのデータが不足していることから、今回、公共施設での回収拠点を拡充して効率的な回収方法を検討します。
- 今後、飯塚市において、市報、市ホームページ、隣組回覧チラシで、市民への周知を行う予定です。



◆ 回収実証実験の概要（飯塚市）

- ・回収対象：清涼飲料水のペットボトルのキャップ
- ・回収場所（以下19ヶ所の玄関前や店頭）
（既存3ヶ所）

飯塚市役所、ハローデイ九工大前店、ハローデイ穂波店
（新規16ヶ所）

穂波支所、筑穂支所、庄内支所、潁田支所、二瀬公民館、
幸袋公民館、鎮西公民館、菰田公民館、立岩公民館、
飯塚東公民館、飯塚公民館、鯉田公民館、穂波公民館、
筑穂公民館、庄内公民館、潁田公民館

※ 注意事項：キャップは水で軽くすすぎ、シール等は取り除いてください。



◆ ペットボトル回収の現状

- ・ 飯塚市ではペットボトル本体は白色トレイとともに資源プラスチックとして、市役所等の公共施設、自治会、量販店に設置した拠点収納ボックスで回収しています。
- ・ 飯塚市ではペットボトル本体は、年間 136 トン回収（平成 22 年度実績）され、リサイクルされていますが、キャップは、燃えるごみとして排出された場合、焼却処分されています。

ペットボトル本体とキャップの回収拠点数

分類	回収拠点	ペットボトル 本体回収	キャップ回収（実験）	
公共	市役所（本庁）	1	1（23 年 2 月～）	既存
	市役所（支所）	4	4（24 年 4 月～）	新規
	地区公民館	1 2	1 2（24 年 4 月～）	新規
民間	量販店	2 2	2（23 年 2 月～）	既存
	自治会	約 4 0 0	0	—

◆ 共同研究プロジェクトの概要

- ・ キャップを焼却ではなく、再資源化することで、CO₂ 排出量の削減や資源の確保に貢献すると共に、回収したキャップは、リサイクル製品となって市民に還元されます。
- ・ 効率的なキャップの回収や、市民への還元の方法等について検討するため、飯塚市と八女市で回収実証実験を行っています。飯塚市では将来的には自治会や量販店での回収も拡大し、ペットボトル等資源プラスチックと同じ拠点で、キャップも同時回収することを検討しています。
- ・ また、キャップを色分けすることで付加価値が上がることから、九州工業大学でキャップの色分け選別の技術開発を行い、集められたキャップはプラスチック再生事業者である㈱プラテクノマテリアルで再資源化します。

※ 平成 22 年度に研究会を設置し、平成 23 年度から共同研究プロジェクトとして実施中です。

【関係者連絡先】

福岡県リサイクル総合研究センター 研究開発課 093-695-3068 担当：川原、田村
 飯塚市役所 環境整備課環境推進係 0948-22-5500（内線125） 担当：馬場